

ファイナンス		武田 寛	
--------	--	------	--

配当年次	1 年次	配当学期	2 学期	科目区分	ベーシック
単位数	2 単位	必修・選択	必修	授業形態	講義

授業で得られる「学位授与方針における能力（学生が修了時に身に付ける能力）」、到達目標
/ Competence Defined in “Diploma Policy” (Competence Students Attain by Course Completion), Specific Targets in Focus

学位授与方針における能力		到達目標
知識・理解	理論知識	◎ ファイナンスに関する専門知識を修得している。
	実践知識	
技能	分析解決技能	○ ファイナンスに関する定性的、定量的な分析能力を習得している。
	実務技能	
	新規事業技能	
態度	倫理観態度	
	企業変革態度	○ 企業経営に関して、ファイナンスの観点から、変革する力を持っている。
	地域リーダー態度	○ 地域のリーダーとしてファイナンスに関する諸問題に積極的に取り組むことができる。
	国際協調態度	

※ ◎：強く関連 ○：関連 △：やや関連

※ 2013年度以降入学生が対象です。

ファイナンス

授業の概要

企業経営や地域リーダーに必要なファイナンスの知識と分析能力を修得する。具体的には、①～⑤では、ファイナンスとは何かを学び、組織の目標とガバナンスや、ファイナンシャル・プランニングについて学ぶ。⑥～⑪では、現在価値分析を理解し、ファイナンスの意思決定について学ぶ。⑫～⑮では、企業の資金調達と資本構成について学ぶ。到達目標は以下のとおり。①ファイナンスの基礎知識を身につけ、ファイナンシャル・プランニングができるようになる、②ファイナンス理論を理解し、企業や家計についてのファイナンスの意思決定ができるようになる、③企業の資金調達と資本構成についての理論を理解し、分析できるようになる。

教科書

ブリーリー&マイヤーズ&アレン著、藤井眞理子・国枝繁樹（監訳）（2014）『コーポレート・ファイナンス（第10版） 上』、『同 下』日経BP社

参考書（○は図書館蔵書）

- ボディ&マートン&クリートン著、大前恵一朗訳、（2011）『現代ファイナンス論 原著第2版』ピアソン
- 砂川&川北&杉浦著（2008）『日本企業のコーポレートファイナンス』日本経済新聞出版社
- 砂川&川北&杉浦&佐藤著（2013）『経営戦略とコーポレートファイナンス』日本経済新聞出版社
- 中島真志（2015）『入門 企業金融論』東洋経済新報社
- 三井住友信託銀行マーケット事業（2013）『第5版 投資家のための金融マーケット予測ハンドブック』NHK出版

授業計画・内容

- ①企業の目標とガバナンス（1）イントロダクション
【ファイナンスの定義】【投資判断】【資金調達に関する決定】【株式会社】
- ②企業の目標とガバナンス（2）財務担当者の役割と資本の機会費用
【金融システム】【資金循環】【金融仲介の機能】【投資のトレードオフ】
- ③企業の目標とガバナンス（3）株式会社の目標
【価値の最大化】【経営者】【株主】【利害関係者】【エージェンシー問題】【コーポレート・ガバナンス】
- ④ファイナンシャル・プランニング（1）
【ファイナンシャル・プランニングのプロセス】【ファイナンシャル・プランニング・モデルの設計】
- ⑤ファイナンシャル・プランニング（2）
【成長と外部資金調達の必要性】【運転資本管理】【流動性と現金計画】
- ⑥現在価値の計算方法（1）
【将来価値】【現在価値】【収益率】【資本の機会費用】【NPV】【IRR】

- ⑦現在価値の計算方法（２）
【永久債】 【成長型永久債】
- ⑧純現在価値とその他の投資基準
【NPVルール】 【IRRルール】 【投資回収ルール】 【相互に排他的なプロジェクト】
- ⑨リスクと資本コスト
【WACC（ワック）】 【CAPM（キャップエム）】 【株主資本コスト】 【ベータ】
- ⑩プロジェクト分析（１）
【感応度分析】 【シナリオ分析】 【損益分岐点分析】 【営業レバレッジ】
- ⑪プロジェクト分析（２）ケース
- ⑫企業の資金調達の概要
【内部資金】 【株式】 【負債】 【金融市場】 【金融機関】
- ⑬企業はどれだけ借り入れるべきか
【支払利子の節税効果】 【財務上の困難】 【トレードオフ理論】 【ペッキング・オーダー理論】 【行動ファイナンス】
- ⑭企業の資金調達と資本構成：ケース
- ⑮まとめ

成績評価の方法 クラスへの貢献度 ３０パーセント
課題の提出 ７０パーセント
※学生が授業に出席することは前提のため、欠席はマイナス評価となります。

事前・事後学習の内容 日本経済新聞を購読して、ファイナンスの知識を活かし自分の考えを持って批判的に読んでください。
課題をすらすら解けるようになるまで復習してください。

履修上の注意

担当者からのメッセージ

キーワード